

第6回 鎌倉市深沢地区まちづくりガイドライン策定委員会 委員意見対応表

番号	ページ	委員	コメント	反映方針
第1章				
1	7p	福岡委員	・コンセプト部分の内容は整理された印象である。	
2	7p	福岡委員	・4つのレイヤー内容が個々の項目でバラバラに実行するのではなく、相互にどのような関係であるのかを 統合した図版もしくは、文言 が必要である。	6p 4つのレイヤーが統合して創り出すまちの将来像シーンを追加した。
3	4p	渡邊委員	・法的規制、規制だけではなく、「誘導」していきよくなるよりポジティブな表現が良い。	2-3p ガイドラインの位置づけ、役割及び構成を示すとともに、「規制」という表現を見直し、「誘導」といった表現に修正した。
4	7p	渡邊委員	・4つのレイヤーを「快適」という目標で 統合するような表現 が必要である。	6p 4つのレイヤーが統合して創り出すまちの将来像シーンを追加した。
5	4p	福岡委員	・まちを整備していく際に使うGLも重要だが、まちと共にずっと使っていくガイドラインなのか、エリアマネジメントのガイドラインに変化していくのか、 将来的にどのようなガイドライン になっていくのか整理が必要である。	3p ガイドラインを、時期・対象・遵守度合いにより区分し、時代の変化等に対応できるよう3段構成とした。
6	4p	細田委員	・時代の変化が加速化していくような時代であるため、譲れない部分（不変の内容）はしっかり決めると共に、 変化に柔軟に対応する姿勢 を表現する必要がある。	3p ガイドラインを、時期・対象・遵守度合いにより区分し、時代の変化等に対応できるよう3段構成とした。
7	7p	細田委員	・4つのレイヤーが整備寄りになっている（事業者目線の項目が多い）。より 持続可能な街に対する姿勢 を強く表現した方がよい。	3p ガイドラインを、時期・対象・遵守度合いにより区分し、時代の変化等に対応できるよう3段構成とした。
8	4p	井澤委員	・時代の変化を考えると、細かいルールは今決めない方がよい。	3p ガイドラインを、時期・対象・遵守度合いにより区分し、時代の変化等に対応できるよう3段構成とした。
第2章				
9	12p~	三浦委員	・様々な概念が入ることで、 このまちがどうなるのかの整理 が必要である。	6p 4つのレイヤーが統合して創り出すまちの将来像シーンを追加した。
10	19p	三浦委員	・都市景観の考え方は補足が必要に見える。	P20,21,22(ルール8~10)に都市景観に関するまち並みルールとして提示した。
11	13p	福岡委員	・12pと13p（広域の位置づけ）の間に 統合された概念図や説明 が必要である。特に、「緑の風と光を感じるまち」より、全体を包括できる概念で整理する必要がある。	今後本編を作成する際に再度整理し反映させる。
12	15p	福岡委員	・スロー交通やMaaSなどの部分にワンヘルスからの 自転車も追加 が要る。 ・地区内だけではなく、 広域のシステムからの内容も必要 である。	検討中であり今後資料に反映させる。
13	17p	福岡委員	・グリーンインフラが大事だが、 樹木の蒸発散、生物多様性の内容も追加して総合的に 考えるべきである。	検討中であり今後資料に反映させる。
14	17p	福岡委員	・オープンスペース性能を目標共有・達成のために街区全体の 定量的な目標値も必要 である。	P19一部反映。検討中であり、今後定量的な目標設定及び現段階の数字目標を整理し、反映させる。
15	12,13,15p	渡邊委員	・15pの交通提案のためには、12~13p交通の前提で「 まちづくりの交通 」に関する 思想 がしっかり共有する必要がある。（鎌倉の交通の課題を解決のため→旧市街地の交通課題にも関連）	P15,16,17一部反映。検討中であり、今後本編を作成する際に再度整理し反映させる。
16	19p	渡邊委員	・ 防災の観点などからオープンスペース を大事にする考えも踏まえて、建物の高さとメリハリを考えながら、今後の検討が必要に見える。	P15,16,18（ルール3,4,6）「ウォーカビリティを促進する歩行環境の整備」や「ウォーカブルなまちを形成する敷地内通路及びオープンスペース」、「防災を強化する街区形成」に整理した。
17	19p	中村委員	・景観計画に書かれている内容は今後の展開・議論が必要に見える。	P20,21,22（ルール8~10）都市景観に関するまち並みルールとして提示した。
18	13p	鎌倉市	・ 空間ビジョンにふさわしい言葉 （「緑の風と光を感じるまち」）があったら提案ください。	現段階では「公園のようなまち（仮）」、「シンボル道路（仮）」等の用語を使い、ガイドライン検討の最終段階で最も適切な用語で概念が統合できるように整理する。
第3章				
19	22p	福岡委員	・②の3つの南北軸の面積など 定量的な部分の目標 を示す必要がある。緑化についても屋上緑化等の目標も示す。 ・凡例必要	P19 検討中であり、今後定量的な目標設定及び現段階の数値目標を整理し、反映させる。
20	23p	福岡委員	・鎌倉市が目指す オープンスペース写真選び は慎重にした方がよい。	写真更新予定。
21	22p	三浦委員	・色々なダイアグラムが出てくるけど、22pは鳥瞰にオープンスペースを表現した方がよい。（表現の改善必要）	今後本編を作成する際に再度整理し反映させる。
22	22,38p	三浦委員	・オープンスペースの概念が、公共空間だけではなく、道路空間や民地内の空間を含めたことは良い。 民地内の空間などは、より具体的に強調 した方がよい。	P15,16（ルール3,4）「ウォーカビリティを促進する歩行環境の整備」や「ウォーカブルなまちを形成する敷地内通路及びオープンスペース」に整理した。
23	22,38p	細田委員	・民地内の敷地内動線→ なぜこれを作らなければならないのかの前提説明 必要。 具体的な形状は建物の形態とも深く関連していくので、フレキシブルにしておいた方がよい。	P15,16（ルール3,4）「ウォーカビリティを促進する歩行環境の整備」や「ウォーカブルなまちを形成する敷地内通路及びオープンスペース」に整理した。
24	22p	細田委員	・ 地区内に限定 されて語られている印象である。	今後本編を作成する際に再度整理し反映させる。
25	22p,38p	渡邊委員	・ 民地内の動線から防災・防犯の課題とも合わせて 検討をお願いしたい。	P15,16,18（ルール3,4,6）「ウォーカビリティを促進する歩行環境の整備」や「ウォーカブルなまちを形成する敷地内通路及びオープンスペース」、「防災を強化する街区形成」に整理した。
26	全体	中村委員	・公共的部分は、目標は示した方がよい。しかし、民地内は具体的に表現するには、限界もある。	P19 検討中であり、今後定量的な目標設定及び現段階の数字目標を整理し反映させる。
27	全体	福岡委員	・その目標に共感を持つディベロッパーが出てくるはず。 ガイドラインでそこまで書けることが重要ではなく共有することが重要である。	P19 検討中であり、今後定量的な目標設定及び現段階の数字目標を整理し反映させる。
28	全体	木村委員	・ 魅力的な回遊動線 に鎌倉らしさが反映されてほしい。	P15,22（ルール3,10）「ウォーカビリティを促進する歩行環境の整備」や「風格のある建築ファサード及び景観要素」に整理した。
29	全体	小園委員	・非常に気持ち良い 緑の空間 になっていくことに期待している。	P7,20に反映。居心地の良い緑の空間については今後も引き続き検討を行う。
30	26p	小宮委員	・ 深沢らしい写真のイメージの提示 が必要である。	写真更新予定。
31	全体	福岡委員	・今後、イメージ共有のためにイラストや写真選びは重要。 鎌倉市の良いオープンスペースをしっかりと使って表現してほしい。	写真更新予定。